

郷土の会だより

発行責任者
岡村昭則

郷土の会4班

久喜の提灯祭り見学

田中 忠

郷土の会4班は7月12日、久喜市の提灯祭りを見物しました。祭りに多額の寄付をしている野村さんの発案です。午後2時から9時30分までお祭りを堪能しました。昼間は人形飾り、夜は提灯飾りと変化させ市内の山車7台が駅前集合、それは賑やかで活気あるお祭りでした。4班行事ですから夕食は「イタリアン」としゃれこみました。18日に再度提灯祭りが繰り上げられます。今年見逃した方はぜひ来年見物してください。



まず市立文書館でお勉強です



古河公方・足利成氏眠る甘棠院



楽しい夕食も目的の一つ

久喜の提灯祭り「天王様」は、旧久喜町の鎮守である八雲神社の祭礼です。この年の浅間山の大噴火で、桑をはじめ夏作物が全滅したことによる、生活苦、社会不安などを取り除くため、祭礼用の山車を曳き回して豊作を祈願したのが始まりと伝えられ、200余年の歴史と伝統を誇る祭りです。祭りは毎年7月12日と18日に行われます。7町内から7台の山車が繰り出され、昼間は、歴史上の人物の人形を山車の上に飾り立て、町内を曳き回します。夜は、人形を取りはずし、山車の四面に四百数十個の提灯を飾りつけた、提灯山車に早変わりします。この提灯山車は夏の夜を彩るイベントとして最大の見どころとなっています。町内の若い衆が、賑やかな笛や鉦・太鼓のお囃子にのせ、関東一と言われる山車を回転させたりして、市内を巡行する様はまさに圧巻です。



本壱(スサノオノミコト) 本二(タケノウチノスクネ)
本三(ジングウコウゴウ) 仲町(オダノブナガ)
志ん一(ヤマトタケルノミコト) 志ん二(ジンムテンノウ)



提灯祭り